

感染症内科

上平朝子

当院は平成9年4月にエイズ治療の近畿地方ブロック拠点病院に選定され、診療、研究、情報発信、教育研修の4つの機能を求められている。当院のHIV患者数は、毎年1年間で200名前後の新規患者が受診し、平成28年3月末現在、当院のHIV感染症累計患者数は約3,000名を超えている。入院累積患者数3,900名以上となり、外来・入院ともに診療患者数は年々増加している。当科では、HIV感染症に関する多様なニーズに対して、医師、看護師、薬剤師、カウンセラー、情報担当官、ソーシャルワーカーらでチーム医療を実践している。現在の診療内容は、HIV感染症が全体の9割近くを占めており、その他は免疫疾患、一般感染症（一類、二類を除く）などである。

「主な診療、研究」

日和見感染症に対する治療や予防の進歩と抗HIV療法の確立によってエイズによる死亡者数は減少した。当科では、ニューモシスチス肺炎、サイトメガロウイルス感染症、カンジダ症、クリプトコッカス髄膜炎、非結核性抗酸菌症など多彩な病原体による日和見感染症の診療を行っている。新しい抗HIV薬が次々と承認され、最新の治療を提供している。平成27年度の初回治療レジメンで、最も多かったのは一日一回のインテグラーゼ阻害薬を含む合剤であった。抗HIV療法は、患者の予後を改善し、HIVの流行を抑えることが報告され、治療の早期化と重要性が高まっている。また、各種合剤の開発によりSTR（single tablet regimen）が可能となり、服薬の負担も軽減されるようになってきた。しかし、長期間にわたり正確な内服を継続しなければならない抗HIV療法の身体的、精神的負担、HIV関連以外の悪性腫瘍合併例の増加、糖尿病や心・腎合併症など生活習慣病への対応、長期予後の改善に伴い長期療養先の確保など課題も続いている。H25年度より、身体症状の緩和と精神的なケアを目的に、多職種による専従のチームを設置し、がん患者のみに提供していた緩和ケアをエイズ患者にも行っている。また、抗HIV薬の治療効果や副作用の調査及び検討、HIV関連の悪性腫瘍や神経疾患、免疫再構築症候群、急性HIV感染症などの難治性病態についての臨床研究や症例検討、ウイルス肝炎（HCV、HBV）とHIVとの重複感染についての症例研究などを行い、厚生労働科研などを通じ、多施設との共同研究にも参加している。また、日本エイズ学会や日本感染症学会を始めとした多くの学会における発表や、論文発表を行っている。

「情報発信、教育研修」

HIV感染症は、病原体も感染経路も予防方法も明らかであるにも関わらず蔓延している。日本では、30～40歳代の若者を中心に患者数が増加している。HIV感染症の早期発見と予防のために、病気についての正しい知識を幅広く提供している。現在、ブロック拠点病院である当院にHIV感染症患者が集中していることから、中核拠点病院を始めとした各拠点病院と連絡会議や研修会を行い、連携を強化している。HIV診療のレベルの向上や人材育成を図るために、専門医師養成実地一ヶ月研修（講義・病棟実習）、各種専門職研修など多数の研修会を実施している。また、各種マニュアルや冊子を作成し配布している。HIVエイズ先端医療開発センターのホームページからも、最新の情報発信を行っている（<http://www.onh.go.jp/khac/>）。

さらに、HIV 患者の長期療養や一般医療の必要性も高まっており、地域の医療機関や訪問看護との連携も積極的に行っている。症例相談、針刺し等の職務感染防止への対応、生活療養支援など、さまざまな相談にすみやかに対応できる体制を目指している。

【2015 年度 研究発表業績】

A-0

Watanabe D, Suzuki S, Ashida M, Shimoji Y, Hirota K, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, and Shirasaka T : Disease progression of HIV-1 infection in symptomatic and asymptomatic seroconverters in Osaka, Japan: a retrospective observational study. AIDS Res Ther. 2015 May 22;12:19. doi: 10.1186/s12981-015-0059-6. 2015 年 5 月 22 日

Okuma Y, Tanuma J, Kamiryō H, Kojima Y, Yotsumoto M, Ajisawa A, Uehira T, Nagai H, Takeda Y, Setoguchi Y, Okada S : A multi-institutional study of clinicopathological features and molecular epidemiology of epidermal growth factor receptor mutations in lung cancer patients living with human immunodeficiency virus infection. J Cancer Res Clin Oncol. 141(9):1669-78. 2015 年 9 月

Yagura H, Watanabe D, Ashida M, Kushida H, Hirota K, Ikuma M, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, Yoshino M, Shirasaka T : Correlation between UGT1A1 polymorphisms and raltegravir plasma trough concentrations in Japanese HIV-1-infected patients. J Infect Chemother. 2015;21(10):713-717. 2015 年 7 月 6 日

Ikuma M, Watanabe D, Yagura H, Ashida M, Takahashi M, Shibata M, Asaoka T, Yoshino M, Uehira T, Sugiura W, and Shirasaka T : Therapeutic Drug Monitoring of Anti-human Immunodeficiency Virus Drugs in a Patient with Short Bowel Syndrome. Intern Med. in press.

A-3

櫛田宏幸、富島公介、矢倉裕輝、吉野宗宏、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨 : 当院 HIV 感染症症例におけるニューモシスチス肺炎に対するアトバコンの使用状況。日本エイズ学会誌 : 17 (2)、P.101-105、2015 年 5 月 30 日

杉本 彩、中水流正一、榊原祐子、西尾公美子、山田拓哉、石田 永、矢嶋敬史郎、上平朝子、森 清、三田英治 : 科学放射線療法で完全奏効が得られた HIV 感染合併肛門管扁平上皮癌の 1 例。日本消化器病学会雑誌 : 113 (2)、P.254-262、2016 年 2 月 5 日

A-4

渡邊 大 : 診断と治療の Topics 「ドルテグラビルの臨床評価」 HIV 感染症と AIDS の治療 : 6 (1)、P.19-24、メディカルレビュー社、2015 年 5 月 20 日

白阪琢磨、上平朝子、立川夏夫 : Q&A 形式 Case Study 急激な肝機能値上昇をきたした症例への対応。HIV 感染症と AIDS の治療 : 6 (1)、P.33-39、メディカルレビュー社、2015 年 6 月

小川吉彦、渡邊 大：エイズに見られる感染症と悪性腫瘍（24）「マルネツフェイ型ペニシリンウム症」化学療法の領域：31（6）、P.1228-1234、医薬ジャーナル社、2015年6月25日。

矢嶋敬史郎：HIV感染症の合併症-非 AIDS 指標疾患を中心に-「悪性疾患」。臨床雑誌「内科」116（5）、P.801-4、南江堂、2015年11月23日

白阪琢磨：HIV感染症、後天性免疫不全症候群（AIDS）「検査と技術」43(13)、P.1306-15、医学書院、2015年12月

白阪琢磨：HIV感染症診療ガイドライン「新領域別症候群シリーズ免疫症候群（第2版）II」35、P.584-96、日本臨牀社、2016年1月

白阪琢磨：HIV職業曝露の対応と予防内服の推奨「新領域別症候群シリーズ免疫症候群（第2版）II」35、P.703-10、日本臨牀社、2016年1月

上平朝子：進行性多巣性白質脳症「新領域別症候群シリーズ免疫症候群（第2版）II」35、P.660-4、日本臨牀社、2016年1月

矢嶋敬史郎：クリプトコッカス症「新領域別症候群シリーズ免疫症候群（第2版）II」35、P.601-6、日本臨牀社、2016年1月

矢嶋敬史郎：サルモネラ菌血症「新領域別症候群シリーズ免疫症候群（第2版）II」35、P.636-40、日本臨牀社、2016年1月

白阪琢磨：抗 HIV 薬「治療薬ハンドブック 2016」監修：高久史磨、編集：堀正二、菅野健太郎、門脇孝、乾賢一、林昌洋、P.1365-89、株式会社じほう、2016年1月

白阪琢磨：HIV-1感染症「今日の治療指針 私はこう治療している 2016」監修：山口徹、北原光夫、総編集：福井次矢、高木誠、小室一成、P.239-42、医学書院、2016年1月8日

白阪琢磨：日本エイズ学会 HIV感染症「治療の手引き」。化学療法の領域（医薬ジャーナル社）、32巻増刊号 感染症ガイドラインのすべて、P135-143、2016年3月31日

A-5

白阪琢磨：「服薬をはじめるまえに第6版」、患者用服薬支援冊子、鳥居薬品株式会社、2015年6月

白阪琢磨：効果的な献血推進および献血教育方策に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）「効果的な献血推進および献血教育方策に関する研究」平成27年度研究報告書、P.7-12、2016年3月31日

白阪琢磨：HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV感染症及びその合併症の課題を克服

する研究」平成 27 年度研究報告書、P.6-10、2016 年 3 月 31 日

白阪琢磨：HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究（近畿ブロック）。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」平成 27 年度研究報告書、P64-66、2016 年 3 月 31 日

渡邊 大：急性感染期の診断および治療に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業））「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成 27 年度研究報告書、P146-150、2016 年 3 月 31 日

上平朝子：HIV/HCV 重複感染を有する血液凝固異常患者に施行した摘脾の影響に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の肝移植に関する研究」平成 27 年度研究報告書、2016 年 3 月 31 日

A-6

白阪琢磨：中学・高校生に知ってほしい HIV、AIDS 知識「体と心 保健総合大百科 2015 年」p54、少年写真新聞社、2015 年 5 月

西田恭治：(医療講演録) 保因者検診のすすめ。OTK CARES No.80、2015 年 7 月

西田恭治：ライフチェンジング 血友病の人々の生活を変える活動を一緒に広めましょう。ノボルディスク血友病財団 (NNHF) 活動報告書 2014/2015、翻訳および医学監修、2015 年 11 月

茨城県守谷市保健センター、ICHG 研究会（田子康之、新井裕子、井内律子、遠藤康伸、大島立裕、岡本多恵子、勝田優、笠井正志、金澤かな子、金澤美弥子、金田暁、小塚雄民、小原ゆみ子、小森敏明、佐々木富子、澤井豊光、白阪琢磨、鹿倉節子、杉浦操、杉山香代子、高岡みどり、竹本真美、田中裕子、長谷川ゆり子、樋口ひとみ、兵道美由紀、藤田直久、藤田忠久、松岡俊彦、三浦正義、村山郁子、森英恵、森本美智子、矢野篤次郎、山之上弘樹、由良嘉兵衛、由良温宣、波多江新平）：ノロウイルス感染症に対する感染症予防対策マニュアル。診療と新薬 52 (12)、P.29-42、医事出版社、2015 年 12 月

B-2

Yajima K, Yagura H, Yukawa S, Hirota K, Ikuma M, Ogawa Y, Kasai D, Watanabe D, Nisida Y, Uehira T, Shirasaka T : Safety and Efficacy of Elvitegravir/Cobicistat/Emtricitabine/Tenofovir Disoproxil Fumarate in Treatment-Naïve Japanese Patients with HIV-1 Infection. World STI & HIV Congress、Brisbane、Australia、2015 年 9 月 13 日

Yagura H, Watanabe D, Ashida M, Kushida H, Tomishima K, Hirota K, Ikuma M, Yajima K, Kasai D, Nishida Y, Uehira T, Yoshino M, Shirasaka T : UGT1A1*6 Polymorphisms are Predictive of High Plasma Concentrations of Dolutegravir in Japanese Individuals. 2015 World STI & HIV Congress, Brisbane, Australia, 2015 年 9 月 13 日

Kasai D, Yukawa S, Yamamoto Y, Hirota K, Ikuma M, Ueji T, Yajima K, Nishida Y, Uehira T, Shirasaka T : Analysis of the surgical risk for human immunodeficiency virus-1 infected patients. 12th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Dhaka, 2015年11月20日

B-3

上平朝子 : 医療関連感染対策のポイント-薬剤耐性菌感染・ウイルス感染アウトブレイクに対応するか-。第89回日本感染症学会・学術講演会、京都、2015年4月16日

矢嶋敬史郎 : 日和見疾患、長期療養の観点からみる HIV 診療のポイント。第89回日本感染症学会学術講演会、京都、2015年4月16日

渡邊 大 : ドルテグラビルの国内臨床経験 (ランチョンセミナー) 「SPRの今後の展望」。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年11月30日

矢嶋敬史郎 : チーム医療における薬学的アプローチの検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会 HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師講習会、東京、2015年12月1日

白阪琢磨 : HIV 感染症の診断と治療の進歩-これまでとこれから-。第31回日本環境感染学会総会・学術集会、京都、2016年2月19日

西田恭治 : 保因者健診の概念と普及。第10回日本血栓止血学会 SSC シンポジウム、東京、2016年2月20日

矢嶋敬史郎 : 総合診療の現場で HIV 感染症を診断する～HIV 感染症発見のヒントと診療のポイント～。第12回日本病院総合診療医学会、横浜、2016年2月27日

B-4

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨 : 髄液中 Adenosine deaminase 高値を示した急性 HIV 感染症の一例。第89回日本感染症学会学術講演会、京都、2015年4月17日

笠井大介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、池田正孝、石田 永、三田英治 : 当院における HIV と HCV の重複感染患者に対する Direct Acting Antivirals の使用成績。第69回国立病院総合医学会、札幌、2015年10月2日

伊熊素子 : 重篤な経過をたどった新規診断 HIV 感染者に関する検討。第43回日本救急医学会総会・学術集会、東京、2015年10月21日

林 晴香、元岡大祐、中山英美、渡邊 大、白阪琢磨、塩田達雄、中村昇太、飯田哲也 : PacBio を用いた HIV 薬剤標的遺伝子領域の多様性解析。第63回日本ウイルス学会学術集会、福岡、2015年11月23日

椎野禎一郎、蜂谷敦子、瀧永博之、吉田 繁、石ヶ坪良明、近藤真規子、貞升健志、横幕能行、古賀道子、中谷安宏、田邊嘉也、渡邊 大、森 治代、南 留美、健山正男、杉浦 互、吉村和久：国内感染者集団の大規模塩基配列解析に見るMSM伝搬ネットワークの感染拡大パターン。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年11月30日

湯川理己、渡邊 大、山本雄大、廣田和之、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：国立大阪医療センターでのドルテグラビル変更例における血清 Cre 変化に関する検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年11月30日

榎田宏幸、富島公介、矢倉裕輝、吉野宗宏、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：キードラッグがテノホビルの血中濃度に及ぼす影響。第28回日本エイズ学会学術集会、東京、2015年11月30日

矢倉裕輝、榎田宏幸、富島公介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：日本人 HIV-1 感染症患者における1日1回ドルテグラビル投与時の血漿トラフ濃度に関する検討。第29回日本エイズ学会学術集会、東京、2015年11月30日

富島公介、榎田宏幸、矢倉裕輝、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染症患者におけるバルガンシクロビル投与時の臨床検査値の変化に関する調査。第29回日本エイズ学会学術集会、東京、2015年11月30日

西川歩美、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、宮本哲雄、下司有加、白阪琢磨：HIV陽性者における初診時のメンタルヘルス等の諸因子と、その後の受診中断の関連性に関する研究。第29回日本エイズ学会学術集会総会、東京、2015年11月30日

渡邊 大、上平朝子、山本雄大、湯川理己、上地隆史、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、白阪琢磨：当院のHIV感染者における長期合併症の有無と抗HIV薬の選択の関連性の検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

笠井大介、山本雄大、湯川理己、廣田和之、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、池田正孝、石田 永、三田英治：HIV 感染者に施行した摘脾の影響に関する検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

矢嶋敬史郎、矢倉裕輝、山本雄大、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院におけるドルテグラビル中止例に関する検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 患者に生じた *Penicillium marneff-fiei* 脳膿瘍の一例。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

廣田和之、山本雄大、湯川理己、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染者の梅毒性ぶどう膜炎の症例。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

岡崎玲子、蜂谷敦子、瀧永博之、渡邊 大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南 留美、吉田 繁、小島洋子、森 治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、豊嶋崇徳、伊藤俊広、猪狩英俊、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、西澤雅子、林田庸総、岡 慎一、松田昌和、服部純子、重見 麗、保坂真澄、横幕能行、中谷安宏、田邊嘉也、白阪琢磨、藤井輝久、高田 昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦 互、岩谷靖雅、吉村和久：本邦の新規HIV・AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

白阪琢磨、岡 慎一、川戸美由紀、橋本修二、日笠 聡、福武勝幸、八橋 弘：血液製剤による HIV感染者の調査成績第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

川戸美由紀、橋本修二、岡 慎一、福武勝幸、日笠 聡、八橋 弘、白阪琢磨：血液製剤による HIV感染者の調査成績第2報 抗HIV薬の組み合わせの変更とCD4値、HIV・RNA量の関連性。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子、高 千恵、泉 柚岐、西口初江、白阪琢磨、井内公仁子：介護老人保健施設でのエイズ研修の検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

小川吉彦、渡邊 大、小川 拓、米川真輔、宇野健司、中村（内山）ふくみ、古西 満、笠原 敬、白阪琢磨、三笠桂一：長期間HIV western blot法の陽転化を認めず免疫機能不全を呈したHIV感染症の一例。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

道川綾加、矢嶋敬史郎、廣常秀人、富島公介、岡本 学、安尾利彦、増田雅子、渡津千代子、上平朝子、白阪琢磨：PWAサポートチームの活動における心理社会的問題への介入の検討。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

沢田貴志、山本裕子、塚田訓久、今村顕史、白阪琢磨、横幕能行、矢野邦夫、中村仁美、上田敦久、保科斉生、猪狩英俊、岩室紳也、仲尾唯治：HIV陽性外国人の出身地の多様化と医療アクセス。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

安尾利彦、仲倉高広、下司有加、中濱智子、東 政美、鈴木成子、白阪琢磨：HIV陽性者のメンタルヘルスと心理的特性の関連性に関する研究。第29回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2015年12月1日

B-5

西田恭治：保因者健診のすすめーそこから学ぶ医療者および患者会の役割ー。第7回山陰凝

固研究会、米子、2015年6月6日

上平朝子：CREの院内感染対策。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月16日

矢嶋敬史郎：皮膚疾患からHIV感染症を診断する。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月17日

上平朝子：当院におけるMBL産生腸内細菌科細菌のアウトブレイクの現状と対策。第11回京都Infection Control研究会、京都、2015年11月14日

B-6

湯川理己、渡邊 大、山本雄大、廣田和之、上地隆史、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：国立大阪医療センターにおけるTDF+FTC+RAL処方例における腎機能についての検討。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

渡邊 大、鈴木佐知子、蘆田美紗、松本絵梨奈、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染者におけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルスに対する抗体保有率と抗体陽転率の検討。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

矢倉裕輝、渡邊 大、蘆田美紗、櫛田宏幸、富島公介、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：日本人HIV-1感染症患者におけるUGT1A1遺伝子多型とラルテグラビル血漿トラフ濃度の関連。第29回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2015年6月6日

林 晴香、元岡大祐、中山英美、渡邊 大、白阪琢磨、塩田達雄、中村昇太、飯田哲也：PacBioを用いたHIV薬剤標的遺伝子領域の多様性解析。NGS現場の会第四回研究会、茨城、2015年7月2日

廣田和之、渡邊 大、山本雄大、湯川理己、上地隆史、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Mycobacterium genavense感染症による大腰筋膿瘍、ショックを呈したHIV感染者の1例。第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第63回日本化学療法学会西日本支部総会合同開催、奈良、2015年10月15日

B-7

渡邊 大：大阪医療センターにおけるドルテグラビルの臨床経験より～DTG+ABC/3TCレジメンを中心に～。ドルテグラビル発売1周年記念講演会、大阪、2015年4月19日

渡邊 大：HIV診療における困難症例 エファビレンツを含む抗HIV療法からラルテグラビル

を含む抗HIV療法に変更した一例。第5回北海道HIVセミナー、札幌、2015年5月9日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめー”She-mophilia”にも包括医療をー。第12回血友病看護フォーラム、甲府、2015年5月23日

白阪琢磨：HIV感染症の神経学的合併症。第3回関西神経感染症研究会【第一報】、大阪、2015年6月27日

渡邊 大：HIV感染者の長期合併症の管理 インテグラーゼ阻害剤の位置づけ。HIV Specialist Forum in Osaka、大阪、2015年7月4日

西田恭治：血友病医療環境の変遷～そこから近年の課題を考える～。第12回四国血友病治療セミナー、徳島、2015年7月25日

白阪琢磨：透析医療者のための HIV 感染症の知識。日本腎不全看護学会 東海地区教育セミナー、名古屋、2015年9月13日

西田恭治：これからの血友病保因者への配慮。長野血友病フォーラム2015、長野、2015年11月21日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめ-そこから学ぶ保因者としての自覚-。三重県へモフィリアケアセミナー、津、2016年2月13日

B-8

白阪琢磨：HIV/AIDS 医療の現状と当院の役割。新入職者オリエンテーション、大阪、2015年4月1日

西田恭治：やりたいことを思いっきりやるために～血友病と上手につきあう。Baxweb2015 公開セミナー、東京、2015年4月17日

白阪琢磨：概論。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年5月7日

白阪琢磨：HIV、AIDS 基礎知識～医療と最新の治療について。大阪府平成27年度HIV、AIDS基礎研修、大阪、2015年5月22日

白阪琢磨：疫学。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年6月4日

笠井大介：講義「新興再興感染症」。兵庫医療大学、神戸、2015年6月15日

白阪琢磨：HIV の最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第10回 HIV サポートリーダー養成研修、大阪、2015年6月26日

西田恭治：血友病保因者健診のすすめ。血友病治療での整形外科医との連携における臨床講座、大阪、2015年6月29日

笠井大介：講義「新興再興感染症」。兵庫医療大学、神戸、2015年7月1日

矢嶋敬史郎：KS、HIV脳症、PML。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年7月2日

矢嶋敬史郎：HIV感染者に見られる併発症について。北陸ブロック医療等相談会、福井、2015年7月4日

上平朝子：感染症コース「HIV感染症」。関西医科大学 講義、大阪、2015年7月9日

矢嶋敬史郎：HIV感染症の治療。第34回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会、広島、2015年8月1日

白阪琢磨：HIV職業曝露の予防と対策。兵庫青野原病院 院内講演会、小野市、2015年8月7日

白阪琢磨：HIV陽性者の人権問題～HIV、AIDS等の現状と課題～。大阪府人権総合講座 人権相談員養成コース、大阪、2015年8月11日

渡邊 大：HIVと急性感染。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月19日

廣田和之：CMV感染症。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月19日

西田恭治：薬害エイズ。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月20日

上平朝子：女性とHIV。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月20日

笠井大介：HIVと悪性腫瘍、針刺し。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月21日

伊熊素子：抗酸菌症。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月21日

笠井大介：PCP。平成27年度大阪大学医学部環境医学・公衆衛生実習、大阪、平成27年8月28日

白阪琢磨：疫学と抗 HIV ガイドライン。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

西田恭治：血友病治療はアドヒアランスからコンコーダンスの時代へ。バクスアルタ株式会社設立記念講演会、東京、2015 年 8 月 29 日

白阪琢磨：HIV、エイズの基礎知識と施設での受け入れについて。高齢者等介護施設のための HIV、エイズ研修会、大阪、2015 年 9 月 11 日

西田恭治：血友病のエイジングケア。THE NEXT 2015 Advanced、大阪、2015 年 9 月 12 日

矢嶋敬史郎：HIV 感染症/AIDS の基礎と最新の治療。第 55 回みやぎ薬剤師学術研修会、仙台、2015 年 9 月 19 日

渡邊 大：HIV 感染症の診断。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

安尾利彦：HIV とカウンセリング。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

渡邊 大、矢倉裕輝：初回抗 HIV 療法の実際。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 28 日

笠井大介：日和見感染症 1、2。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

矢嶋敬史郎：医師・薬剤師向け症例検討。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

上平朝子：針刺し暴露後対策/女性と HIV。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

西田恭治：血友病診療・凝固因子製剤の使い方。平成 27 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2015 年 9 月 29 日

上平朝子：大阪医療センターにおける CRE アウトブレイクへの対応。三重大学医学部附属病院職員研修会、津、2015 年 9 月 29 日

渡邊 大：HIV 急性感染。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会 (1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 1 日

上平朝子：免疫再構築症候群 (IRIS)。平成 27 年度 HIV 感染症医師実地研修会 (1 ヶ月コース)、大阪、2015 年 10 月 1 日

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療 (カンジダ症・クリプトコッカス症他)。平成 27 年度 HIV 感

感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2015年10月1日

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療（HIV脳症・PML）。平成27年度HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2015年10月1日

伊熊素子：日和見感染症診療（抗酸菌症）。平成27年度HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2015年10月2日

上平朝子：HIV感染症の基礎知識と感染対策。大阪府HIV感染者等歯科診療連携体制構築事業における協力歯科診療所向け研修会、大阪、2015年10月3日

渡邊 大：抗HIV療法の変更と薬剤耐性。平成27年度HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2015年10月5日

廣田和之：STD（性行為感染症）の診断。平成27年度HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2015年10月5日

上平朝子：HIV感染症の基礎知識。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月6日

廣田和之：CMV感染症。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月6日

渡邊 大：HIV感染症の診断。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月7日

伊熊素子：抗酸菌症。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月8日

笠井大介：HIVと呼吸器感染症。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月9日

西田恭治：血友病診療。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月9日

白阪琢磨：HIV感染症の疫学。平成27年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、平成27年10月9日

白阪琢磨：HIVについて。長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科「感染生物学」講義、滋賀、2015年10月28日

上平朝子：HIV感染症の基礎。厚生科研エイズ対策研究事業HIV陽性者に対するメンタルサポートに関する研修会、京都、2015年11月1日

矢嶋敬史郎：口の中から見える HIV 感染症。第 6 回中国四国地方 HIV 陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議、岡山、2015 年 11 月 1 日

西田恭治：成人患者への投与経験。オルプロリクス発売 1 周年講演会、東京、2015 年 11 月 7 日

白阪琢磨：HIV の最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第 11 回 HIV サポートリーダー養成研修、大阪、2015 年 11 月 13 日

白阪琢磨：現代的健康課題について－HIV、エイズや性感染症について－。平成 27 年度新規採用養護教諭研修（第 10 回）、大阪、2015 年 11 月 13 日

白阪琢磨：地域で HIV、エイズ患者を支えるために～在宅生活を支えるあなたに知ってほしいこと～。八尾市保健所「HIV 陽性者地域支援者啓発事業 研修会」、八尾、2015 年 11 月 27 日

上平朝子：院内感染対策について。鳥取大学医学部附属病院職員研修会、米子、2015 年 11 月 27 日

上平朝子：当院における CRE アウトブレイクの現状と対策。鳥取県院内感染対策講習会、米子、2015 年 11 月 28 日

白阪琢磨：HIV 感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校「成人看護学Ⅳ援助論 4」講義、大阪、2015 年 12 月 2 日

白阪琢磨：近畿ブロック拠点病院での HIV 診療の現状。平成 27 年度 HIV 医療研修会、大阪、2015 年 12 月 3 日

上平朝子：標準予防策の基本と HIV 感染予防対策について。平成 27 年度 HIV 医療研修会、大阪、2015 年 12 月 3 日

白阪琢磨：職業曝露後対策について－HIV を中心に。大阪府医師会労災部会 第 2 回労災医療研修会、大阪、2015 年 12 月 11 日

矢嶋敬史郎：口の中からみえる HIV 感染症。徳島大学病院キャリアアップ講演会、徳島、2016 年 1 月 19 日

白阪琢磨：HIV、AIDS の現状と支援。大阪府立大学 公衆衛生看護学Ⅰ、大阪、2016 年 1 月 21 日

笠井大介：HIV 感染症の基礎知識。社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 院内感染対策研修会、高槻、2016 年 1 月 26 日

白阪琢磨：献血推進。「安全な輸血確保による感染症予防」研修、吹田、2016年2月1日

白阪琢磨：HIV感染症の現状とHIV陽性者の療養支援について。高槻市保健所HIV・エイズ講習会、高槻、2016年2月4日

矢嶋敬史郎：症例検討。平成27年度包括的HIVカウンセリング研修会、福山、2016年2月20日

上平朝子：大阪医療センターにおけるCREアウトブレイクの現状と対策。社会福祉法人恩賜財団済生会京都病院平成27年度第2回院内感染対策研修会、長岡京、2016年2月26日

白阪琢磨：HIV感染症の最新治療。平成27年度NGO指導者研修会（エイズ予防財団）、東京、2016年2月28日

白阪琢磨：今後の被害救済医療の充実に向けて。薬害エイズ裁判和解記念20周年記念集会、東京、2016年3月26日

B-9

渡邊 大：感染症 TODAY 「今後の抗HIV薬の展望」。ラジオNIKKEI。2015年5月6日

白阪琢磨：HIV、AIDSの現状や基礎的な知識について。FM大阪ラジオ「HIV、AIDS啓発プロジェクトLOVE+RED」、大阪、2015年6月6日、13日

白阪琢磨：HIVの現状や性感染症について（公開収録 大阪市内公立学校中学3年生対象）。FM大阪ラジオ「HIV、AIDS啓発プロジェクトLOVE+RED」、大阪、2015年7月18日、25日

白阪琢磨：HIV、AIDSについての疑問・質問（スタジオ収録 大阪市内公立学校中学3年生対象）。FM大阪ラジオ「HIV、AIDS啓発プロジェクトLOVE+RED」、大阪、2015年8月15日、22日

白阪琢磨：HIV最新情報について解説。読売テレビ「情報ライブミヤネ屋」、大阪、2015年11月18日

白阪琢磨：「大阪エイズウィークス2015」やHIV、AIDSにまつわる状況・環境を振り返って。FM大阪ラジオ「HIV、AIDS啓発プロジェクトLOVE+RED」、大阪、2015年12月26日、2016年1月2日